

西武学園文理小学校で八巻学長（西武文理大学）が講演

令和4年7月2日（土）

西武学園文理小学校で英風会主催「西武文理大学 八巻学長による講演」が行われました。当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOM形式で、多くの保護者にご視聴いただきました。



西武学園文理小学校
飛田校長が八巻学長を紹介

今回公演のテーマ：

「〈子ども〉について哲学的に考えてみる」

- ・哲学とは〈常識〉を疑う事
- ・〈子ども〉に哲学ができるか？
- ・〈子ども〉とは？
- ・ヨーロッパ近代における〈子ども〉の発見
- ・現代は〈子ども〉期が長くなっている
- ・〈権威〉の喪失：SNSの優越により加速度的に進行中
- ・時間的存在としての人間には、よい意味での〈権威〉は必要不可欠
- ・〈知る〉と〈信じる〉と〈分かった！〉



西武文理大学 八巻学長

子どもは物事を「知る」の後、親・大人の顔を見る。

親・大人は「いいよ。（やっぴごらん）」と言うと安心して「知る」が「信じる」になる。

更にその後押しを受けて実行すると、それがその子の「分かった！（行動にまでつながる深い理解）」となる。

西武学園文理小学校には「3つの教育の柱」があります。

1. **こころ**を育てる
2. **知性**を育てる
3. **国際性**を育てる

まさに「こころ」「知性」「国際性」を育てるキーワードとなる内容でした。



講演そして質疑応答後、英風会会長様より感謝の花束贈呈